

初台リハビリテーション病院 恒例の餅つき大会! たくさんの笑顔をいただきました

明けましておめでとうございます。昨年12月26日(土)に毎年恒例の餅つき大会が行われました。当日は日和も良く、多くの患者さま、ご家族さまに参加いただき、お餅が450皿、豚汁が350杯! と大盛況でした。参加された方々からは「おいしかった」「楽しかった」とのお言葉、笑顔がたくさんいただきました。新年を迎え1Fロビーには凧揚げの飾り付けを行っていますので、ぜひご覧になってください。今年度もよろしくお願い致します。



船橋市立リハビリテーション病院 12月26日は大盛況でした! 年末恒例もちつき大会

例年は屋外で行っていましたが、今回は病院の受付前にある喫茶きららを1日閉店し、そこでおもちをつきました。いつもとは違う場所でしたが、皆さま、いかがでしたか? 外来の患者さまは“屋外”と“室内”のどちらも体験された方も居るかもしれませんね。ご感想をぜひお教えてください! 『よいしょー!』という掛け声の中、今回も患者さまの沢山の笑顔を見せていただき嬉しい限りです! 列に並んで、おもちをついてくれた皆さま、本当にありがとうございました。



船橋市立リハビリテーションセンター 第41回 介護職員向け勉強会が当センターにて開催されました

今回のテーマは「元気になるグループワーク」。参加者31名が各々の介護経験で一番感動したことや成功体験、プロの介護と家族の介護との違いなどを話し合いました。グループワークで多様な体験を共有することで、今後の仕事に活かせる新たな視点や、自分が考えもしなかったアイデアを学ぶことができた有意義な勉強会となりました。勉強会は今後も継続し、今年度は年10回実施していく予定です。



在宅総合ケアセンター元浅草 「これからの生活期リハビリテーションについて考えよう」ケアマネジャー交流会2015

交流会には、地域のケアマネジャー39名にご参加いただきました。副センター長の澤瀉より当センターでのリハ会議やリハマネジメント等の取り組みと事例を紹介した後、当センターのスタッフを交えグループワークを行って、活発な意見交換をしました。栄養部からの彩りも豊かな軽食が、交流会に華を添えてくれました。今後も地域包括ケアの一助となるよう、地域のケアマネの皆さまと共に活動を続けていく所存です。



在宅総合ケアセンター成城 皆さまの手で作られた鏡餅を新春の館内にお供えしました

去る12月28日、今回で3回目となる餅つき大会を開催いたしました。炊き立ての餅米は美味しそうな湯気を出し、臼から溢れそうな量の量でしたが、参加していただいた皆さまに力強くついていただき、見事にコシのある餅につきました。更に、餅は参加者の皆さまによって鏡餅に仕上げられ、館内に飾らせていただきました。参加していただいた皆さま、大変ありがとうございました。本年も皆さまにとって幸多い年になりますことをお祈り申し上げます!!



2016年の年頭にあたり

医療法人社団 輝生会は、2002年に初台リハビリテーション病院、2003年に在宅総合ケアセンター元浅草、2004年に在宅総合ケアセンター成城、2008年に船橋市立リハビリテーション病院、2014年に船橋市リハビリセンターの5拠点で事業展開するようになりました。

事業内容は「寝たきりにしない、寝かせきりにしない医療サービスの提供」です。第1に、急性期の病院から回復期リハビリテーションを要する患者さんをできるだけ早く受け入れ、入院による集中的リハビリテーションを提供し、良好な状態で在宅復帰できるよう支援とすること。第2に、在宅復帰後は通院・通所・訪問・短期入院などによるリハビリテーションを中心とした在宅ケアサービスを提供し、良好な状態で在宅生活が継続できるようにすることです。

この事業には、建物の構造も重要ですが、何よりもサービス

に関わる専門職の量的充実が必須です。医師、薬剤師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、社会福祉士、臨床検査技師、放射線技師、管理栄養士、栄養士、調理師、介護支援専門員、健康運動指導士、医療事務職等の専門職員数は1300名となりました。

専門職としての技術の向上はもちろんですが、何よりも職種を超えたチームアプローチを徹底し、ご利用くださる方々の尊厳を保持し、自己決定権を尊重する教育に最も力を入れています。

本年も更なるサービスの質の向上を目指し、なお一層の努力をいたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



理事長 石川 誠

輝生会2016年の展望 — 決意と感謝をこめて

教育研修局 局長 小林由紀子

新年あけましておめでとうございます。昨年の嬉しいニュースに、ラグビー日本代表の活躍が挙げられます。イングランドで行われたラグビーワールドカップ2015で、優勝候補の南アフリカを接戦の末、後半ロスタイムで逆転。劇的な勝利を飾りました。「奇跡の勝利・大金星!」と新聞に掲載され、日本中を一躍ラグビーファンに変身させてくれました。過去7回の戦績が24戦1勝2分け21敗の中、今回は4戦3勝1敗! 歓喜の波は、一時的なブームではなく2019年日本開催にまで、国民に愛されるスポーツとして定着していくと確信しています。最後まであきらめず、限界まで挑戦する練習の質と量。選手全員が一丸となって勝利に向かう、仲間への敬意と信頼。それらすべてが今回の要因になっていると感じました。医療の展開も、まさに同様の要素を求められています。正しさを追求し、決してあきらめずに挑戦する姿勢、目先のことにとらわれず真の結果や成果を導く努力、そしてやはりチームアプローチの確実な展開。新年を迎えるにあたり、改めてその決意を胸に実践を重ねる所存です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

地域包括ケア具現化へ向けて加速する1年に

事務局 局長 森本 榮

新年あけましておめでとうございます。新年早々固い話ですが、日本は超高齢社会の到来に対し、国家を挙げ様々な施策を推進しています。その1つに、市区町村を基盤に「地域包括ケアシステムの構築」が叫ばれています。輝生会では、開設時から法人理念に「地域リハビリテーションの推進」を掲げ実践していますが「地域包括ケア」と「地域リハビリ」は同じ目的を持った活動と言えます。

具体的には、住み慣れたところで、そこに住む人々と共に、一生安全にいきいきとした生活が送れるよう、医療や保険・福祉及び生活に関わるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力しあって行う活動のすべてを指すと言われています。

地域包括ケアの推進により、利用者・家族、事業者、行政等の関心は高くなっています。今年は長年培った経験を生かし、輝生会の各拠点が地域包括ケアの具現化の一翼を担う活動を加速する年になります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

季刊情報誌「輝net」 編集発行 医療法人社団 輝生会 本部/〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9 5F http://www.kiseikai-reha.com

初台リハビリテーション病院 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3 TEL.03-5365-8500 http://www.hatsudai-reha.or.jp  
 船橋市立リハビリテーション病院 〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-26-1 TEL.047-439-1200 http://www.funabashi-reha.com  
 船橋市リハビリセンター 〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-519-3 TEL.047-468-2001 http://www.funabashi-rehacen.com  
 在宅総合ケアセンター元浅草 〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-17 TEL.03-5828-8031 http://www.motoasakusa-reha.com  
 在宅総合ケアセンター成城 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-8-7 TEL.03-5429-2292 http://www.seijo-reha.com

本誌へのご意見ご要望はメールにてお寄せください。 contact@kiseikai-reha.com

基本理念と方針	■ 「人間の尊厳」の保持	■ 「地域リハビリテーション」の推進	■ 「情報」の開示
	■ 「主体性・自己決定権」の尊重	■ 「ノーマライゼーション」の実現	
患者さまの権利	■ 人権を尊重される権利	■ 最善の医療を受ける権利	■ 自らの意思で選択・決定する権利
	■ 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利		■ プライバシーの保護を求める権利

輝生会 栄養部の取り組み

## 在宅総合ケアセンター元浅草・在宅総合ケアセンター成城のお食事が輝生会直営になりました

当法人は、2002年、初台リハビリテーション病院の開院1年後より栄養部門を直営化し、2008年には船橋市立リハビリテーション病院も、開院と同時に栄養部門を直営化しました。在宅総合ケアセンター元浅草・成城の栄養部門は業務委託による運営でありましたが、2014年7月、在宅総合ケアセンター元浅草を直営化、2015年8月在宅総合ケアセンター成城を直営化し、輝生会栄養部が4拠点を運営する運びとなりました。

初台リハビリテーション病院開院当初より、「病院らしくない病院」をめざして、リハビリテーションにおける三本柱(運動・栄養・休養)の元、患者さま、ご家族さまが少しでも心地よい時間をすごしていただけるよう、栄養部では従来の病院給食の考え方から一歩出て、和食・洋食専門の調理師を配置。調理師が立案した献立を栄養士と管理栄養士で作上げる三位一体のチームアプローチを行って参りました。栄養があり安全であることはもちろんのこと、患者さまが「これ食べたいな!」「あれ食べたいな!」「また食べたいな!」と思えるような料理を提供するを合言葉に、常に挑戦しつづけてきました。

毎月、季節に合わせた料理(イベント料理)の提供、納涼際や餅つき大会などのお祭り事、さらに、患者さま、ご家族さまに向けた著書出版の監修なども行っております。食べ

たいという意欲・意志は人が生きてゆく上での原点であり、この上ない楽しみの一つでもあります。今後も患者さま、ご家族さまにやすらぎと喜びを感じていただける料理作りと、更なる食事サービスの質向上を目指し、栄養部チーム一丸となって日々努力してまいります。

### 在宅総合ケアセンター元浅草・在宅総合ケアセンター成城の食事取り組みについて

患者さま、利用者さまのお食事は、15日サイクルの献立からスタートしましたが、少しずつサイクルを増やしております。2015年12月現在、元浅草19日・成城18日サイクルです。また、毎月の季節料理イベントなども行っておりますのでぜひお楽しみ下さい。いただいたご意見・ご感想はできるだけ反映するよう心がけてまいります。

文責:栄養部 総料理長 加園信一

### 「脳卒中後のおいしいリハビリご飯」

女子栄養大学出版部

毎日の献立を考えるだけでも頭を悩ますのに、食材・塩分の制限やエネルギーの制限、さらに食形態の調整などが必要になる食事づくりは、とても困難を極める事と思えます。そこで栄養部門スタッフがご自宅でも簡単に作れる献立、作業工程を分かりやすくまとめました。書店等でお求めいただけます。

Book report

## 2015年クリスマスイベント料理と担当調理師のご紹介



元浅草のクリスマスメニューは、鶏から取ったコンソメスープ、ジューシーに焼き上げたローストチキン、彩り華やかなミモザサラダ、さっぱりと爽やかなフランボワーズのムースです。

ローストチキン/ミモザサラダ/コンソメスープ/フランボワーズムース



元浅草 料理長  
川嶋 優



成城のクリスマスメニューは、自家製のデミグラスソースで牛バラ肉をトロトロになるまでコトコト煮込んだメインと彩り野菜を添えて。

ビーフシチュー/グリーンサラダ/コンソメスープ三色ピーマン/プチロールケーキ



成城 調理師  
所 薫

## 輝生会 地域包括ケア推進プロジェクト

### 『区中央部地域リハビリテーション支援センター協力施設に指定されました』

東京都では、2000年7月から設置された東京都リハビリテーション協議会にて、二次保健医療圏毎に地域リハビリテーション支援センターを指定しています。この支援センターは、地域におけるリハビリテーションのシステム化に資することを目的に、地域リハビリテーション支援事業を実施しております。

実施する事業は以下の通りです。

1	PT・OT・STのリハビリテーション技術の底上げを図るとともに、かかりつけ医へリハビリテーションに係わる知識・技術情報を提供することにより、区の在宅リハビリテーション支援事業等を支援すること
2	ケアマネジャーのリハビリテーションに係わる意見交換の場を提供すると共に、ケアマネジャーに対してリハビリテーションの知識・技術等に関する研修を実施することにより、訪問・通所リハビリテーションの利用促進を図ること
3	地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体等の参画による連絡会を開催し、地域リハビリテーションに関する課題等について意見交換し、情報提供を図り、地域リハビリテーションのシステム化に資すること
4	若手のPT及びOTの実習生を受け入れ、実務経験を積める育成体制を整備し、質の向上を図ること

区中央部(千代田区・中央区・港区・文京区・台東区)の地域リハビリテーション支援センターは東京慈恵会医科大学付属病院が指定を受けていますが、当該センターから、台東区に関しては、協力施設として「在宅総合ケアセンター元浅草(たいとう診療所)」が2015年10月に指定されました。

そこで、11月18日に輝生会本部研修センターにて、地域リハビリテーション支援事業の説明会及び意見交換を、



地域リハビリテーションの推進のため頑張ります!!  
(支援センター協力施設事務局メンバー)

台東区の医師会・歯科医師会・薬剤師会・区立台東病院・永寿病院・台東区介護サービス事業者連絡会・台東区訪問看護ステーション連絡会・台東リハ連楽会・行政の代表者の方、総勢20名にご参加いただいて開催いたしました。

そこで今年度の事業計画について協議した結果、以下の計画となりました。

1	地域のリハビリテーション施設、自治体、関係団体による幹事会の設置
2	2016年3月19日に講演会及びシンポジウムの開催
3	台東区のリハビリテーション資源調査
4	台東区リハビリテーション提供機関マップの作成

台東区  
エリアマップ



さらに、次年度以降の事業計画は幹事会を開催して協議していく予定ですが、暫定的に以下の計画を共有しました。

1	幹事会	3回開催
2	講演会	2回開催
3	介護職対象研修会	6回開催
4	介護支援専門員対象研修会	2回開催
5	多職種合同の事例検討会	2回開催
6	台東区のリハビリテーション資源調査	
7	台東区リハビリテーション提供機関マップの更新	

地域包括ケアシステムの実現に向けて、医療・介護・福祉・生活に関わる団体や組織、行政の協力のもと、いつまでも住みなれた地域で自分らしい暮らしを送れるように、リハビリテーションの立場から支援してまいります。

文責:支援センター協力施設事務局 鈴木誠一